

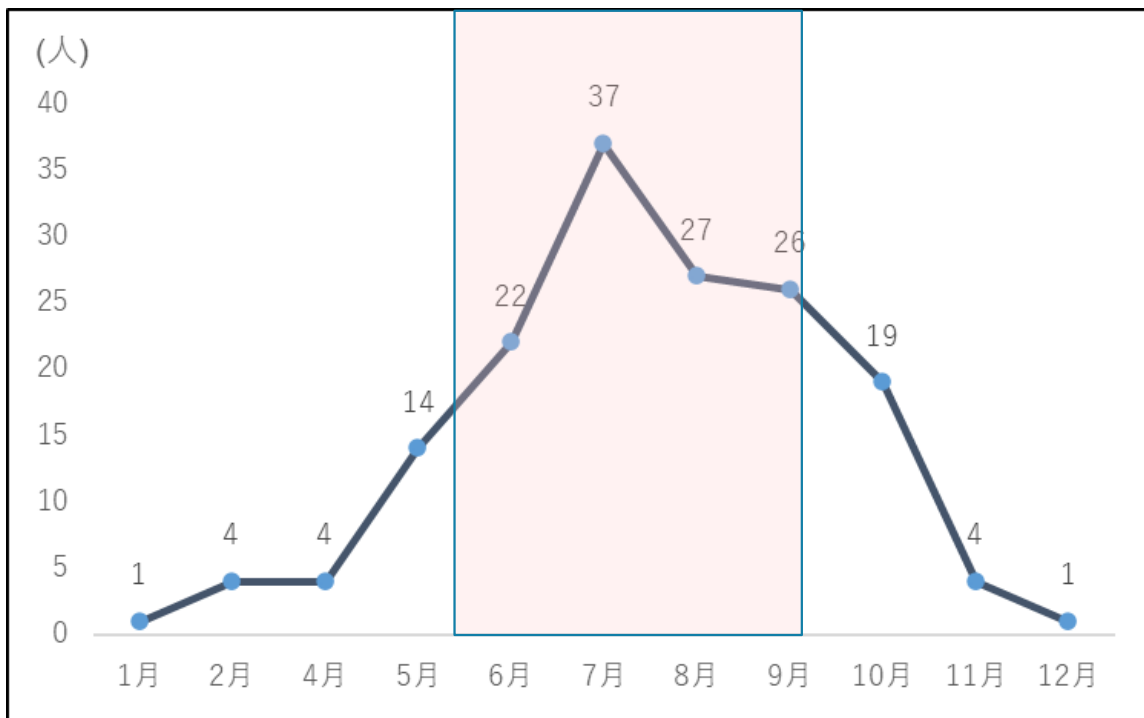
## 草刈り作業中の事故による救急統計について

郡山地方広域消防組合管内では過去10年間（2016年から2025年まで）で草刈り作業中の事故により159人が救急搬送されています。全体の約70%が6月から9月にかけて発生しています。これからの時期、一般家庭でも草刈り作業の機会が増えてくるため、注意喚起を図ることを目的に、救急統計をまとめましたのでお知らせします。

※小数点を含むものは、小数点第2位を四捨五入した数値で表記。

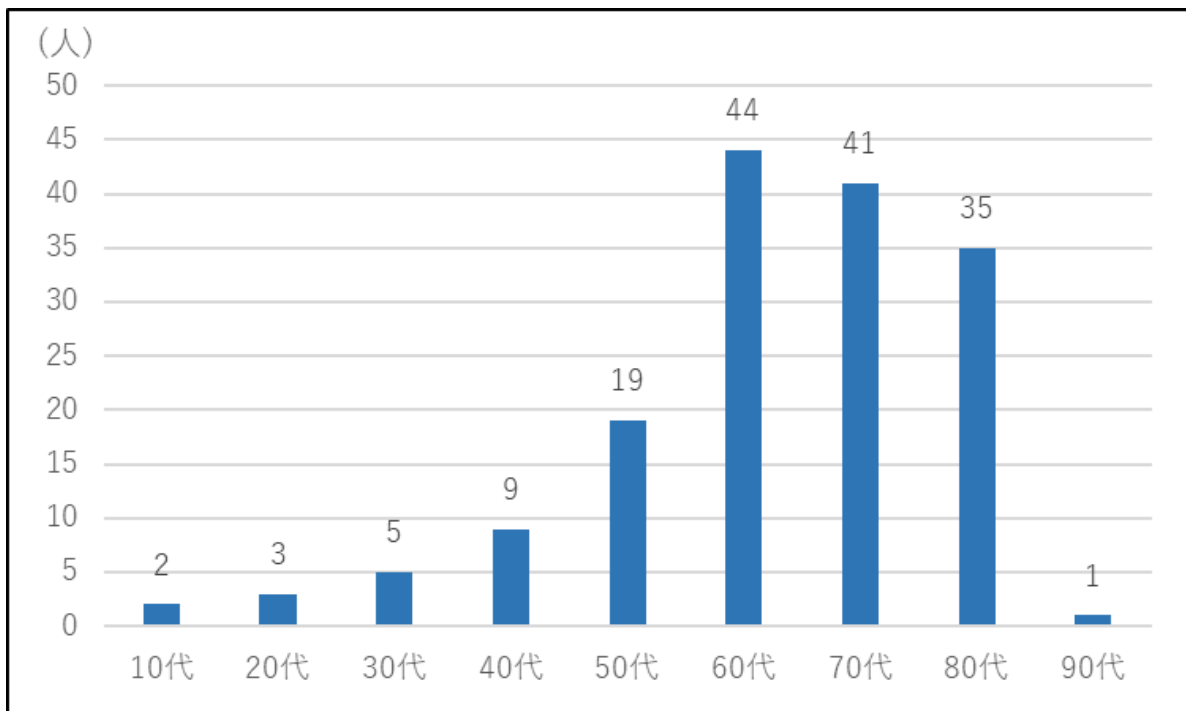
### ■ 月別の救急搬送人員

月別の救急搬送人員で見ると草刈り時期の7月が最も多く37人（23.3%）でした。6月から8月は草が成長する時期であり、草刈り作業中の事故も増えてきます。



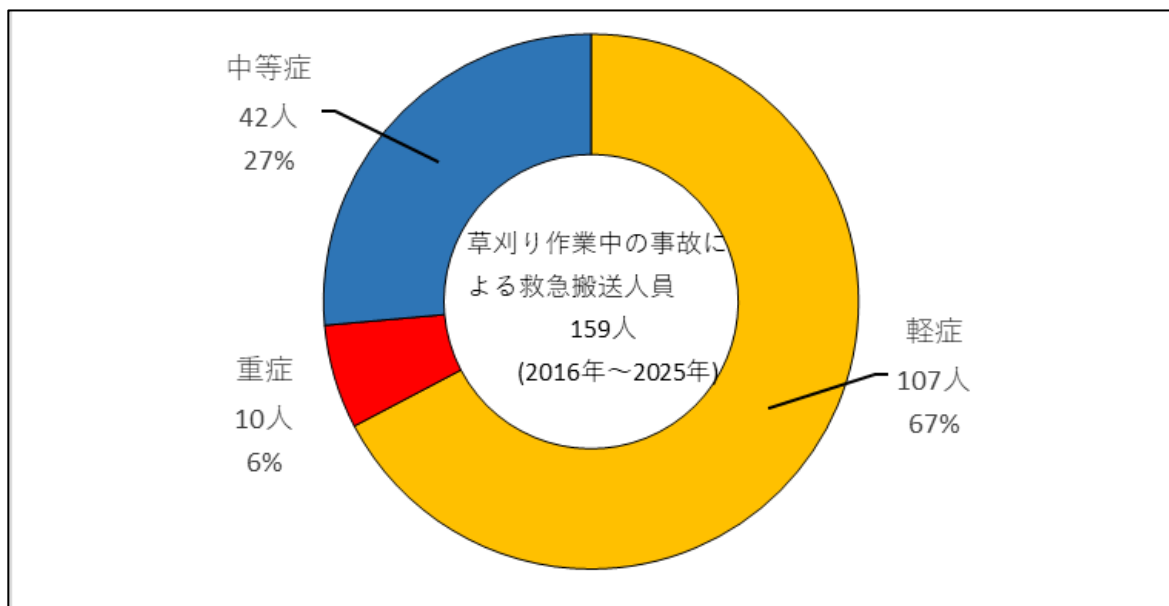
### ■ 年代別の救急搬送人員

年代別の救急搬送人員を見ると60代が最も多く44人(27.7%)、次いで70代が41人(25.8%)、80代が35人(22%)と続きます。60代以上で121人(76.1%)と全体の約8割を占めています。



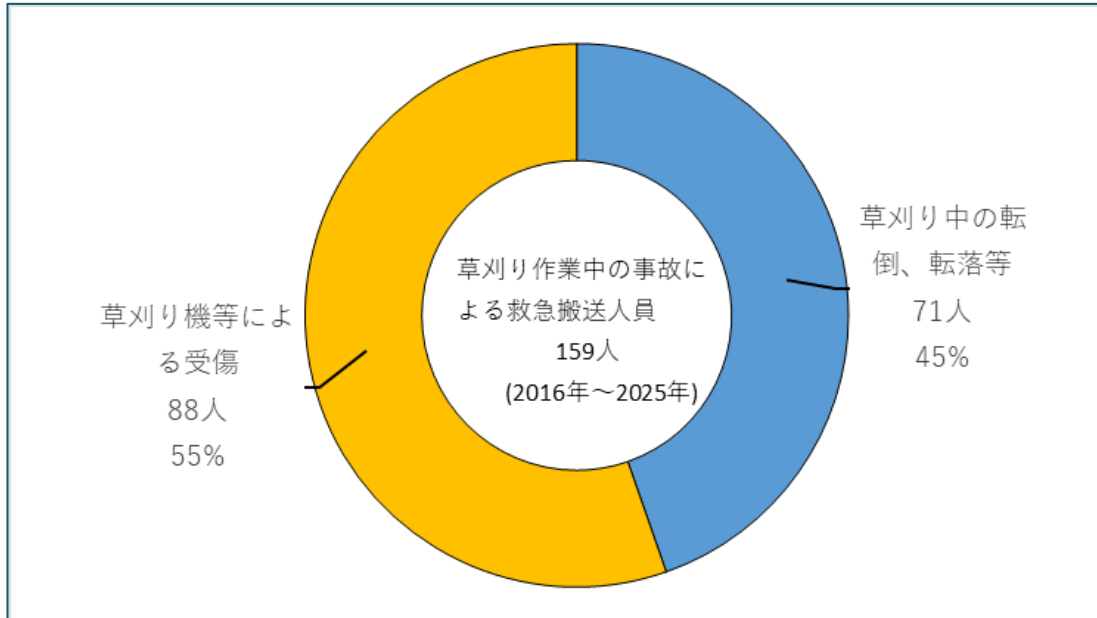
### ■ 傷病程度別の搬送人員

傷病程度別の搬送人員を見ると、軽症が最も多く107人(67%)、中等症が42人(27%)、重症が10人(6%)でした。



## ■ 草刈り作業が要因となった事故の割合

草刈り作業中の受傷機転を見ると、草刈り機等による受傷が88人（55％）に対して、転倒等による受傷が71人（45％）となっています。



### 【事例について】

- ・勤務中に敷地内の草を電動草刈機で刈っていたところ運転操作を誤り右下肢に接触させ受傷し、同僚が救急要請した。（重症）
- ・乗用の草刈り機で畑の草刈りを行っていたところ、傾斜地で草刈り機が傾いた拍子に落下し右下腿部を受傷、自ら救急要請した。（重症）
- ・畑で草刈り作業中、後方に移動しながら草刈りしていたところ、躓き転倒、腰部を打撲し動けなくなった。携帯電話で家族に連絡し、家族が救急要請した。（中等症）

### 【事故防止対策について】

- ・草刈り機の刃の交換作業やメンテナンスを行う際は、エンジンを停止させ正しい手順で行いましょう。
- ・安全対策としてゴーグル、手袋、長袖・長ズボン、安全靴、ヘルメットを着用しましょう。
- ・斜面などの草刈りは無理な姿勢を避け、足場の確認をしながら行いましょう。
- ・足元が滑りやすい斜面はロープを活用し安全確保を実施し、滑落防止を図りましょう。
- ・草刈り機を扱う際は、周囲に人がいないことを確認しましょう。
- ・一人で作業を行う際は、連絡手段を確認しましょう。スマートフォンの緊急通報サービスを設定するとさらに安心です。